
達人リコメンドの四国～続・神山、お礼参り

7. 四国遍路

四国と言えば、お遍路さん。白装束で身を引き締め、弘法大師の歩いた88箇所のお寺を、35日～40日かけて歩きます。徳島23・高知16・愛媛26・香川23のお寺でご朱印して結果を残すという壮大なスタンプラリーです。諸説ありますが、88箇所すべて参った後に、結願の報告・道中の安全の御礼を兼ねて最初に参ったお寺を再訪するのが慣わしとか。

今年のGWの旅は、この慣行に従いまして、南無大師遍照金剛、まんまんちゃんあん、などと唱えるかどうかは別として、前月お世話になった神山町へのお礼参りから、スタートです。

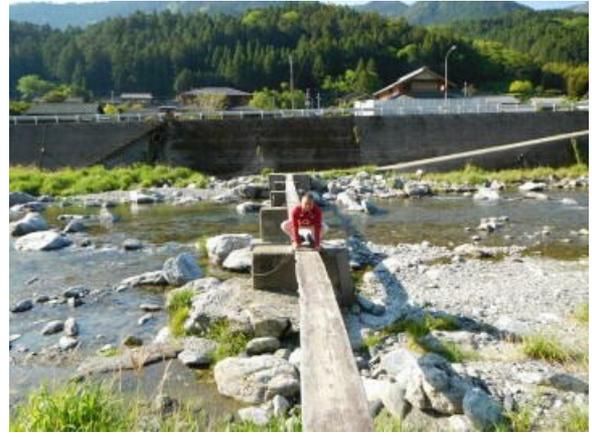


8. こんにやく橋

前回の訪問後に神山町の良いところを山口智充さんが、バイクで巡る番組の再放送を見て行きたくなった「こんにやく橋」を訪れます。鮎喰川に架かる木の板の一本橋。中央径間で身体を揺らすと、ポヨンポヨンと弾みます。幅員50cm程度で、バランスに自信のある人なら、自転車での通行も可能です。

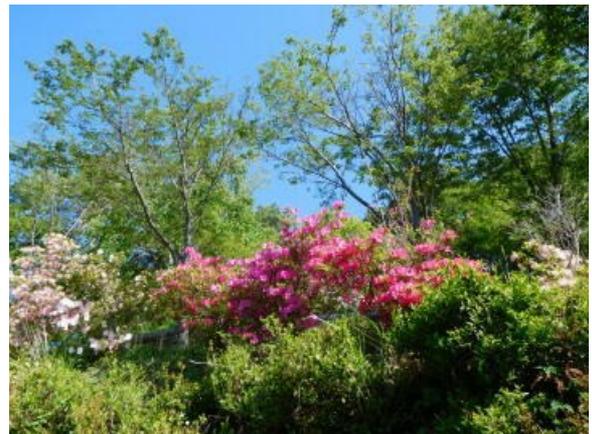
また、この番組(NHKの四国えかこと旅)で山口さんのナビゲーターを務めたのが、観月茶屋のお兄さんで、乳いちょうや棚田など、神山の魅力を伝えてくれていますから、再放送などあれば、チャンネルを合わせて下さいね。





9. 西ノ名のタローくん

山一面の枝垂桜を丁寧に案内してくれたお父さんと、共に生活する仔犬のタローくんにお礼が言いたくて、またまた細い山道を軽自動車で登りました。満開の桜の時期と違った趣で、今はサツキとツツジが満開です。もう少し早い時期なら、散った桜の花びらに覆われたピンクのじゅうたんが広がっていたそうです。新緑の季節の展望と、野草の中に小さな花を見つけて得た気分のロケーションです。





今回も、少し成長したタローくんとお父さんが、丁寧に案内してくれただけでなく、神兰特産のすだち酢を使って、周辺で採れたフキやタケノコを和えた地産地消のバラずしをご馳走になり、お土産までいただきました。



ここは、桜の季節だけでなく、四季折々を肌で感じることができる、究極の故郷です。
お父さん、奥さん、タローくん、今回もありがとうございました。

10. 岳人の森(がくじんのもり)

入場口は観月茶屋で、入場券では、「岳人の森は、現主人が1972年(当時23才)から今日まで開発してきたもので、当時は低い雑木やカヤにおおわれた荒地で、水も電気もなく、人里遠く離れ、ひっそりと、訪れる人のない秘境でした。徐々に整備を進め、今日では1500株余りのシャクナゲや全国最大のヒメシャガが群生、その他、数多くの野生種の貴重な花々が、春から秋まで見られる山

岳植物園となっております。」と紹介される、海拔1000mにある高山植物のパラダイスです。





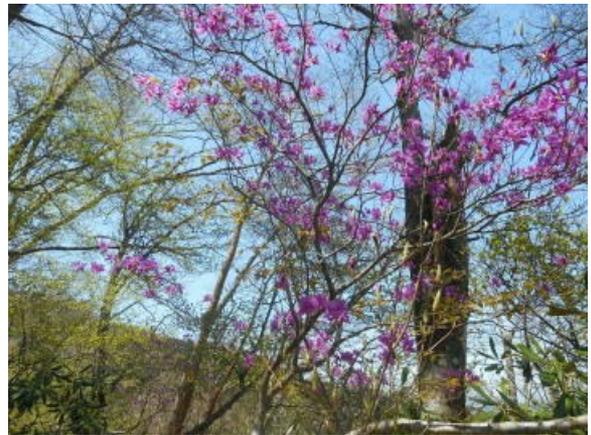
訪問時はシャクナゲまつり開催でしたが、シャクナゲを見るならもう少し遅い時期が良かったのかも。ユキモチソウという森の妖精みたいな花と出会い、ヒメシャガはボチボチ咲いています。山頂ではアケボノツツジが満開で、登山道を歩けば、シャクナゲにカタクリも咲いているようで、1時間もあれば登れると聞いて、いざ行かん。



山頂は1374mの砥石権現。気楽なハイキングロード、1時間の散歩道と考えて、飲み物も持たず、スニーカーで進むと・・・おいおい。息つく暇も無いほどの登り、行けども行けどもお花とも巡り合えず。1時間登ると「あと35分」の看板。結果的に、目的の花とも出会い、山頂到達から下山、観月茶屋に到達するまで、2時間40分。今日はこれくらいにしといたろ・・・と言うのが精一杯の砥石権現でした。



満開のアケボノツツジが見たければ、登山靴履いて、ペットボトル持って出かけましょう。道中の展望は、一見の価値ありますよ。



ランチは、観月茶屋で田舎そば、煮しめ、ごま豆腐に、ふきごはん。最後は天下一品のワラビ餅でフィニッシュです。

アートなお食事を調理してくれただけでなく、今回の神山の旅のヒントを与えてくれた茶屋のお兄さんに感謝です。





11.発心から修行

お遍路さんのスタートは、徳島県鳴門市の霊山寺から。徳島23箇所を発心の道場と言い、高知は修行、愛媛は菩提、香川を涅槃の道場と言って最後の大窪寺を参れば結願となります。日和佐の23番・薬王寺から室戸の24番・最御崎寺までの道のりは、太平洋に沿ってただひたすら歩くだけの、修行みたいな道のりです。



こちらの旅も、徳島県の神山から、次の目的地の高知県の室戸に向かいますが、巷では酷い道という意味で、酷道と噂される193号線を移動。岳人の森から山深い曲がりくねった細い道をぐるぐる。大釜の滝を越えて、またまた細い道をグルグル。途中の木沢トンネルを抜けると突如、全面通行止め。林道に迂回して195号線から、もう一度193号に戻りますが、これからが大変。視界も悪く急坂、カーブは当たり前、193号を示す看板もなく、狸にばかされて同じ道をたどっているのかと不安になり、道が開けた部分では、野生のお猿さんと遭遇、噂通りの酷道を走破しました。走行時間、3時間・・旅の初日からお遍路さん同様のハードな修行をさせていただきました。



次回は、酷道は走りませんが、神山の魅力をもっと知りたいと思うと共に、達人リコメンドの懐深き町と認定したいと思います。一度、神山町に触れて下さい。山深さだけでなく、懐の深さがわかりますから..

平成28年5月7日記(旅は平成28年5月1日)

Top
[トップ](#)
[↑](#)

Back
[戻る](#)



[達人リコメンドの四国～龍馬パスポート](#)